

アンケート調査報告

しょうがいしゃさべつかいしょうほう ねん しこう かいせい ごうりてきはいりよ
障害者差別解消法（2016年施行）の改正により、これまで、合理的配慮の
ぎ む づ くに じちたい こんご みんかんじぎょうしょ ごうりてき
義務付けは国や自治体のみとされてきましたが、今後は民間事業所にも合理的
はいりよ もと
配慮が求められることとなりました。

たいほくしょうがいほけんふくしけんいきじりつしえんきょうぎかいけんりようごぶかい たいほくちいき
そこで、大北障害保健福祉圏域自立支援協議会権利擁護部会では、大北地域の
げんじょう はあく しょう かた かぞく しちょうそんふくしか
現状を把握するため、障がいのある方またはそのご家族、市町村福祉課、
ふくしてきしゅうろうさき そうだんしえんせんもんいん じりつしえんきょうぎかいとうじしゃせんもんぶかい きょうりよく
福祉的就労先、相談支援専門員、自立支援協議会当事者専門部会にご協力い
ただき、「不当な差別的取り扱い」「合理的配慮が不足していると思う事」を
お聞きするアンケートを実施しました。

みな ごきょうりよく けっか いったいすう かいとう え たび
皆さまに御協力いただいた結果、一定数の回答を得られたため、この度
あんけーと けっか べっし ほうこく
アンケートの結果を別紙にてご報告いたします。

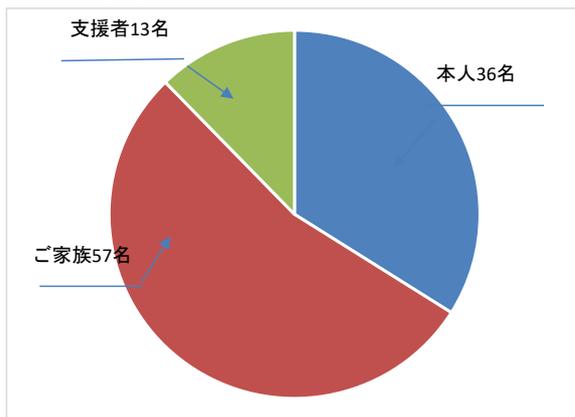
きょうりよく みな あらた かんしゃ もう あ
ご協力いただいた皆さまには、改めて感謝申し上げます。

たいほくしょうがいほけんふくしけんいきじりつしえんきょうぎかい
大北障害保健福祉圏域自立支援協議会

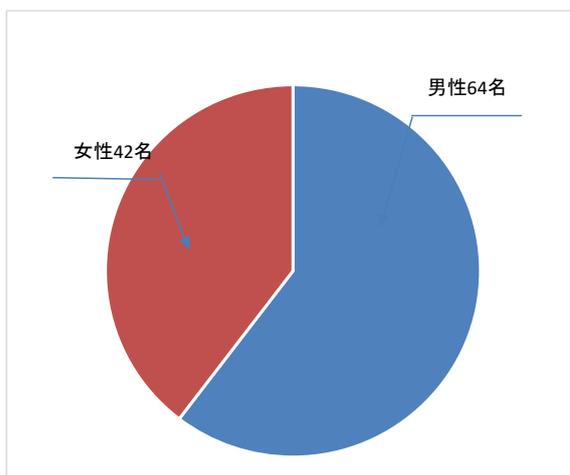
けんりようごぶかい じむきょく
権利擁護部会 事務局

アンケートまとめ

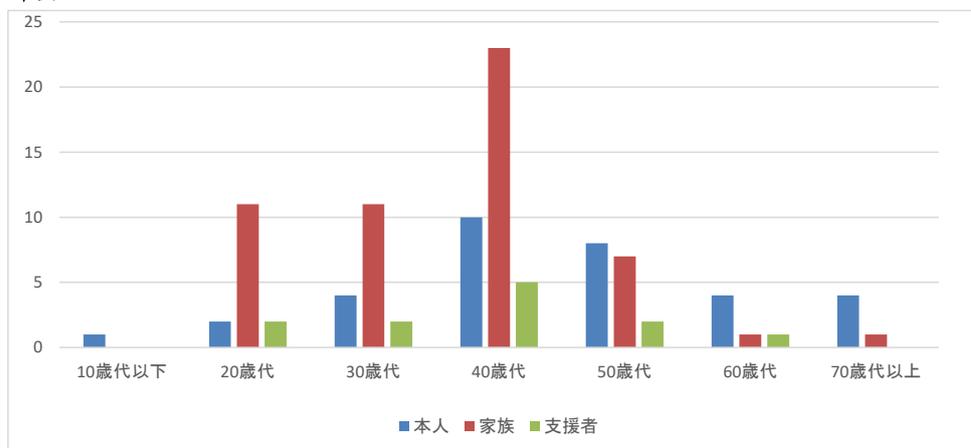
問1 回答者 総計106名



問2 性別



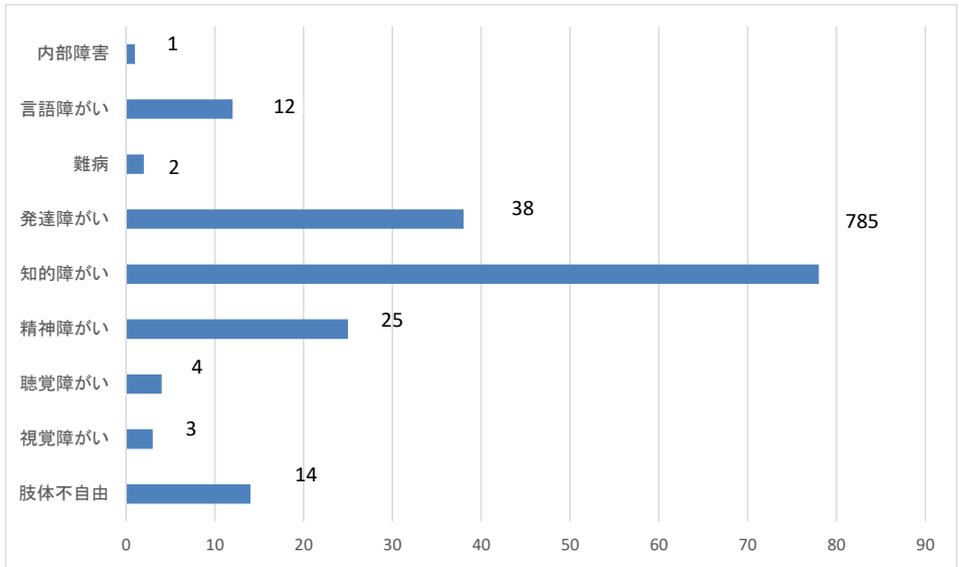
問3 年齢



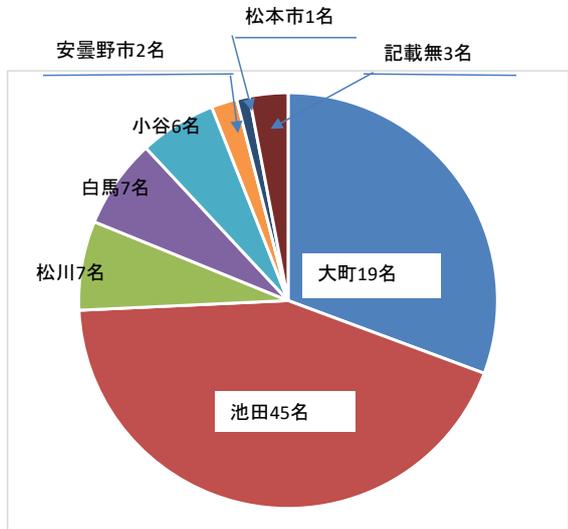
	10歳代以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	TO
本人	1	4	5	11	8	4	4	36
家族	0	12	11	23	7	1	1	55
支援者	0	3	2	5	2	1	0	13
TO	1	19	18	39	17	6	5	104

*2名記載なし

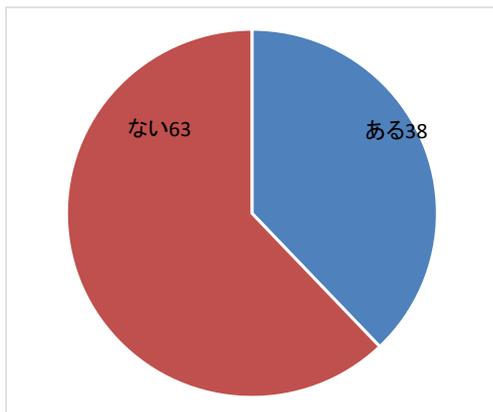
問4 障害種別 *重複回答あり 記載無し1



問4-1 住所地



問5 障害があることで他の人と違う扱いを受けた、嫌な思いをした、障害にあった必要な工夫や配慮をしてもらえなかった経験はありますか？ *複数回答,無記載あり



(支援者・代弁者)

- ・職場で精神障害とわかると冷たくなる人が一部いた。
- ・駅のゴミ箱があふれていて散乱したゴミを他のゴミ収集場所に捨てた所、不法侵入で警察に拘束された。
- ・神社でゴミ袋を持ってゴミ拾いをしていたら、賽銭盗人と酷い目にあわされ警察に連行され調べられ一円も盗っていなかった。話せなく無理やりのデッチあげだった。
- ・綿半ホームセンターで万引きと間違われた。
- ・障害者施設と自宅の往復のみ。
- ・奇異な目で見られた。
- ・松本養護学校高等部に通っていた時、いろいろ先生方に配慮いただいたが、入寮は1年しかさせてもらえず、お願いしても何故か断られた。自分よりも軽い方がそのまま入っており、どうしてなのか明確な説明もなかった。責任者の気分？だったのかとさえ思う。
- ・グループホームに15年位前に入居。世話人が次々と変わり、身体介助をしてくれない世話人の時は不潔であった。

(家族)

- ・ちょっと見は正常に見えるので相手も普通に対応するので嫌な思いをしたようですね。
- ・自分勝手な行動が多いため、奇声を発する為、ジロジロ見られる。見て見ぬふりでも危険な行為の時のみ手を貸してほしい。
- ・特性を知らない福祉の方にマスクをしないことを皆の前で指摘され、パニックになり大声を出した。(親が見ている話をしましたが、その後、声をかける時は親に話してからにします…等町の職員の方が腹を立ててしまった)
- ・障害者本人の母親が他人である近所の住民(子供の年齢が低い時)、施設の職員(成年後)から誹謗中傷を受けた。
- ・金銭の取り扱いが難しいので常時介護しているのでトラブルはない。
- ・小学校の時、町内の行事に声をかけてもらえなかった。
- ・「このような子が生きてはいけない。」と言われた。
- ・本人が子供の頃は、親と外出するときに目立つ行動をしてしまい、周囲から奇異な目で見られたこともあるが、現在は施設入所して職員の方がいろいろ世話してくださっているので、生活面や外出時にもそれほど日常で差別とか困る経験はないようです。
- ・市役所で難しい言葉で話されたり、病院で難しい説明をされた。
- ・小中学校ではいじめにあっていた。(生徒からも、先生からも)
- ・一般就労を目指し職場実習をしたが、職場の人から「一緒に働きたくない。」と言われ諦めた。
- ・遊技場で遊んでいた時、男性店員の方が「子どもはしてはいけない」と言われ、親が「大人です。」と言っても信じてもらえなかった。(その当時 幼い顔に見えたようです)
- ・電車でジロジロ見られた。
- ・片頭痛もちで、急に頭が痛くなり休んでいたら「なぜ朝から言わないの」と怒られた。
- ・職場の上司の人に仕事のやり方を紙に書く等の工夫をして欲しいと言ったところ、そんな暇はないと言われた。今は担当が変わってその人はいない。
- ・地域や学校で配布されるものなどが、安曇養護学校に通っていると配布されないことがある。
- ・病気療養中でも話し合い(顔合わせ)、ラインでの会話等を促された。それができれば健康です。結果、さらに作業所への足が遠のいている。どうどう辞めたいと言いつている。本人からの動き出せるまではそってしておくのが良案です。
- ・5歳くらいの時、眼科へ行って医者に診察時に嫌がったりすると「こりゃお母さん大変だわー」と言われた。診察前に障害の話を受け付けに伝えておいたのですが……
- ・常に周りから見られていることが多い。
- ・支援の中で本人の特性をわかってもらえない声掛けがたまにある。だろう支援が多く感じられる。
- ・学校時代、バスの降車場所を市役所にしてもらった時、天気の悪い時は濡れないようにと屋根のある近くに車を停めていたら「こんな所に停めてもらっては困る。市民の人からも苦情が出ている。」と言われた。
- ・飲食店へ入店。席に着いたが水も注文にも来ず、無視された。

- ・車イス生活で飲食店に行った時に車イスと言ったのに備えつけのイスのあるテーブルに案内され、イスを移動できないからと変更してもらったことがある。
- ・保育園の時、年中年長の時、市立の保育園で普通の子供と一緒にどの思いで通わせましたが、本人が当時のことをよく覚えていて、他の子と一緒に触れ合うことがほとんどなく、園長先生の部屋にいたことが多かったことをよく話してくれます。当時、親も気づかなく問い合わせることも無く来てしまいました。園での様子をもっと確認すべきだったと思います。
- ・小学校の入学前、半ば強制的に養護学校への入学を強要された。断って地元の小学校に入学させた。
- ・保育園時代(松本市)重度の肢体不自由の息子に対して、歩行が出来ないと言う理由から下駄箱を用意してもらえなかった。(靴を履く必要がないということらしい)卒園式の時も従来は産まれ順で卒業証書の受け取りの代表を選ぶところ、4月生まれのわが子は外され、5月生まれの健全なお子さんが代表を務めました。その件に関して保育園側の説明もあやふやでした。
- ・子供を連れて外出するとよく宗教関係の人に声をかけられました。ファミレスで食事中も宗教関係の方が席に来て「お医者さんに見放されたお子さんの病気を助けた上げられます。」と言われ、断っても席を離れませんでした。

(本人)

- ・ローンの契約の時に手に力が入らないのでハンコを代わりに押してほしいとお願いしたが、それはできないとかたくなに断られたことがある。
- ・雨の日の病院で、自分で運転してきた車をやむなく玄関に横付けして受付の人に駐車場まで移動してもらえないかとお願いしたが、断られたことがあった。さらに運転できる人を自分で手配するよう言われた。
- ・言動が暴力的で不快な気持ちにさせられる。
- ・一方的な考えで話を聞いてもらえない。
- ・されたくないのに、自宅に引きこもってゲームイラストの仕事をSNSでやっています。中学校は最悪でした。
- ・説明が早すぎて理解に難しい。
- ・一緒に仕事が難しすぎて別の仕事に移ったらと注意を受けた。
- ・一緒に仕事が早すぎて注意を受け難かった。
- ・一緒に仕事の時間帯、人数とか限られ、一緒に仕事出来る人がいないのが嫌でした。
- ・マスクで口元が見えない、聴覚障がいなので場所によって「マスクを外して話してもらえないか」とお願いしづらい時がある。
- ・聴覚障害なのでFAX番号を伝えても、家族に健聴者がいるとわかると電話がかかって来ることもある。
- ・聴覚障害者なので口を大きく開けて話すようお願いしても、声量を挙げて途切れなく早くしゃべるので、内容がわからず困ることがある。
- ・精神科に長年通院していることを理由に「面接のときに言わなかった。知っていれば落としていた」と言われた。
- ・吃音症を面白半分に笑われきつかった。
- ・仕事で障害者と言う理由で解雇させられた。
- ・言語障害の為いろいろと誤解されやすい。
- ・バルンの管を隠せと言われた。

問6 障害があることで他の人と違う扱いを受けた、嫌な思いをした、障害に合った必要な工夫や配慮してもらえなかった経験はどのような場所でしたか？ * 重複回答、無記載あり

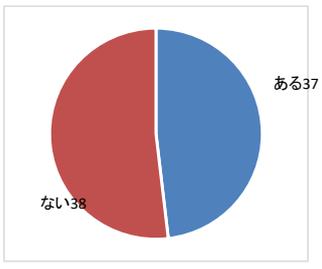
職場 6	警察 1	神社 1	飲食店 7
スーパー 8	学校 8	障がい福祉サービス事業所 8	
小売店 4	自宅 1	医療機関 2	ホテル・宿泊所 1
競技場 1	電車内 1	公官庁・市役所・役場 7	
その他 8			

スポーツジム施設、パレエ教室、テニス教室、三者面談
支援会議、など教え上げるときりがない
福祉センター内、町内会(PTA)

5歳位の時に通学中嫌がり、電車内でパニックを起こし別車両へ避難したが、他の人の配慮はなく「うるさい」と蹴飛ばされた

マイナンバーカードの発行に「本人を連れてきて」と言われ市役所で大暴れ。ついに市役所の人にも「本人に帰ってもらってよい」と言い出した。(上の立場の人)もう行きません

問7 自分の障がいに関合った必要な工夫を求めたら、合理的配慮してもらったことがありますか？ * 重複回答、無記載あり



(支援者・代弁者)

- ・具合が悪い時に休める。
- ・体調に合わせた仕事の配慮
- ・わからない書類を手伝ってもらう。
- ・病院への通院。
- ・駅で電車に乗る時に駅員に荷物を運んでもらった。
- ・仕事内容を変えてもらった。
- ・話を聞いてもらう。
- ・視覚支援を用いて分かり易く説明してもらった。
- ・食事をする時にいつもとは違う食器で出してきたため食べにくかった。そうしたら見たことのある食器に食べ物を入れ替えてもらえたので食べることができた。(知的・発達障害)
- ・仕事のマニュアル(段取り)を作ってもらった。

(家族)

- ・保育園に入園した際、1人の専属の保育士さんをつけて頂いたことはとても助かった。
- ・あまりに世話人さんが息子の介助を適当にし、時々施設に行くと、顔が垢だらけだった。その時の人が辞め、ヘルパーさんに入浴サービスを週3回受けられるようになり安心した。
- ・上部の方が(電話で)謝った。
- ・1人で店に行って品物を持ってきた時、施設へ電話してくれて支払いした。
- ・言葉の他に絵カードの利用してもらっている。
- ・目を離して見失った時、見つけた場所を教えてもらった。
- ・階段や段差などが大変なので、ゆっくり降りるようにと声をかけてもらったり、手を引いてもらっている。

- ・興奮してパニックの様になっている時は、落ち着くまで別室で休ませる等はしてもらっているようです。
- ・予防接種で個別に一番優先して看護師増員で対応してもらった。知ってくださる方が多く、配慮を求めると対応してもらえる。
- ・待つことや知らない人への拒否があることを伝えると、予約時間を待つことのないように配慮してくれたり、診察室以外で受診をしてくれた。
- ・毎日の中で、関わる職員で理解して声掛けがあった。
- ・手がふさがっていたらスーパーのカートを片付けてもらった。
- ・3日続けて泊りだとストライキが起ると申し出て、泊りは2日連続にして頂きました。ありがたかった。自宅での反抗が弱まったので。
- ・電車に乗る際、車いすであることで介助を求めたら乗降の際の介助をもらえた。
- ・経管栄養をしている時、学校に看護師を初めて配置してもらえた。
- ・子供の送迎時、市役所で屋根のある隅の方へ停めるよう言われたが、きちんとした場所ではなく、1台しか停められなかったが、雨に濡れずにはすんだ。
- ・地元の小学校に入学した時、加配の先生を1人つけて下さった。玄関や運動場に出る場所など、可動式のスロープを購入して下さいました。
- ・説明や手順等、口頭でわからない時は筆記での説明をもらえた。
- ・公共の場で車イスの乗り降りを手伝ってもらった。
- ・車イス用の駐車場がない時、停まる場所を融通してもらった。
- ・家族で温泉旅行に行く際、事前に子供の状況をホテルの方に伝えた所、広いお風呂付の部屋を一般のお部屋と同じ料金で用意して頂きました。お風呂の介助が必要な息子にとって入浴の際、お部屋からの移動もなく家族で関わる事が出来て大変助かりました。精算の際ホテルの方にお礼を伝えると「シーズンオフなのでお部屋のご用意が可能でした。」と優しく言われました。おかげ様で楽しい旅行が出来ました。

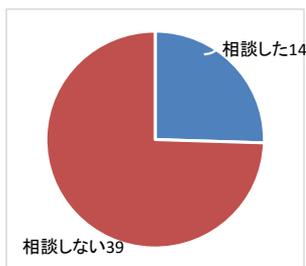
(本人)

- ・トイレを自分で出来るように施工してもらえた。
- ・レストランで入口ではないサッシを外してもらって入店した。
- ・声かけ、座席等 優先してもらった。
- ・わかりやすいように仕事を教えてもらった。
- ・中学の頃勉強不足だったので個人的(家庭教師)に夕方遅くまで勉強を教えてもらった。
- ・歯科医院で入口から近い治療席に変えてくれた。
- ・筆談、音声文字変換アプリ(スマホ)、手話等 目で見て分かるものを使うなど配慮してもらっている。
- ・医療機関などでは窓口で「耳が不自由」と前もって伝えておくと、近くまで来て順番を知らせてもらっている。
- ・特定の音や光又は白色がかなり苦手で、看護師に相談して配慮してもらった。
- ・「こまめに休んでいいよ。疲れたら無理せず、指導員に相談してください。」と言われストレスが減った。
- ・車いすなので出入口の段差を解消してもらえた。
- ・目が悪いと言うと書類の代筆をもらえた。
- ・わかる言葉で 教えてもらった。
- ・耳が聞こえない環境で筆談をしてくれた。
- ・勤務時間、業務内容を配慮してもらった。
- ・イライラしたら別の場所で落ち着いまで待ってもらおう。

問8 自分の障害に合った必要な工夫を求めたら、どのような場所で合理的配慮を
もらった経験がありますか？ *重複回答、無記載あり

学校 4	公官庁 10
障がい福祉サービス事業所 18	車の中 1
金融機関 1	職場 5
スーパー 5	飲食店 1
医療機関 7	催し会場 1
スポーツ用品店 1	薬局 1
駅 2	ホテル宿泊所 1
	レジャー施設 1

問9 日常生活において障害があることで他の人と違う扱いを受けて困った、嫌な思いをした、
問10 自分の障害に合った必要な工夫や配慮をもらえなかった時にどこかに相談しましたか？
相談した方はその相談先を、しなかった方はその理由を記載してください。 *重複回答、無記載あり



(相談先)

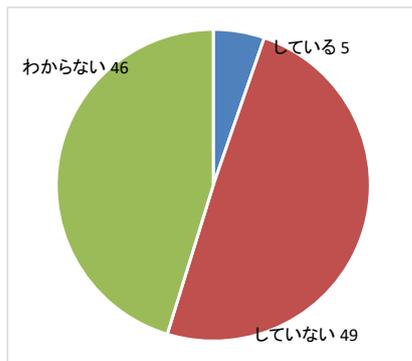
- ハローワーク 1
- 市の保健センター 1
- 障害者総合支援センター 2
- 通学していた学校 1
- 福祉課・子育て支援課 3
- ケアマネ 1
- 施設 1
- 福祉事務所 1
- グループホーム運営事業所 1
- 病院 1
- 親 1
- カウンセラー 1

(相談しなかった理由) *重複回答あり

- ・相談しても解決できないから 11
- ・こんなことで相談して良いか迷った 3
- ・経験をした場所で話したら配慮してくれた 4
- ・相談先がわからない 6
- ・いつものことなので諦めている 12
- ・相談しにくい 5
- ・相談の発想がなかった 1
- ・いきさつが複雑すぎて説明がまず困難。
理解するには1年間24時間一緒に過ごす
事が必要です
- ・親の会で話し合った
- ・話し合ったが納得してもらえず、否を認めようとせず
障害者への理解はされず、自己の正当性を強調
され納得しない為 引き下がった
- ・いつも親と一緒になので差別を受けたことがない
- ・市役所は「決まりなので出来ない」と言われた
- ・当時家族や周りが気づけず過ぎてしまった

問11 障害者差別解消法が社会に浸透していると考えますか？

* 重複回答、無記載あり



問12 差別や偏見のない社会を実現するために、どのようなことが必要と考えますか？

(支援者・代弁者)

- ・性別、能力に関わらず一人の人間であることで、同じように関わってもらえること、又、配慮されすぎるのも差別であることも知ってもらえること。
- ・障害特性について勉強する機会を増やす。(積極的に参加する)
- ・障害のある人について多くの人に知って頂くこと。
- ・障害のある人と触れ合うこと。
- ・むずかしい。
- ・別にない。
- ・特に精神障害者の本人に該当する事と思われるが、見える障害ではない為社会的偏見が目立ち本人の自己責任として問題解決するように求められている傾向がある。もっと社会に精神障害者に対する啓発活動をする必要があると思う。
- ・難しくわかりません。
- ・わからない。

(家族)

- ・お互いに理解してもらいように知り合うこと。
- ・差別や偏見は消えないと思う。けど、1人でも多くの人に好き好んで障害を持っているのではないですよ…と伝えたいです。
- ・自分の都合もあるが、相手(障害に関わる困りごとのある人々)の意見をまず受け入れて実践すること。
- ・バリアフリーの街を整備してもらって、障害のあるなしに関わらず、普通に街で会ったり、話せるようになれば偏見も少なくなってくるのではないのでしょうか。車いすで歩きやすい道路にしてほしい。
- ・当事者の声を社会に伝える。(マスコミの協力)
- ・障害の種類にあった啓発活動は必要だと思う。
- ・地域での交流が必要と考える。
- ・学校では出来るだけ一緒にいる時間を取り、障がい児に対する理解を自然に感じ取ってほしい。社会では障がいへの理解を深めてほしい。その為には保護者もそのための社会参加をしていくことはもちろんだが、そのような機会を市で作っていく事も大切だと思います。障がい者の生活の現状も知って欲しい。(自立して生きていってほしいが、無理なところもあるので)ジョブコーチ等の必要性も知って欲しいと思います。
- ・どんな障害があるかみんなに知ってもらい、地域にはそういう人がどれくらいいるか、そういう人が健常者と同じで得意不得意があるだけなのだと知ってもらう事が大切だと思います。
- ・障害を他人事と考えず、特別視しないで接してほしい。
- ・在宅時50歳すぎて他人との接触は親が気を付けて迷惑をかけないように気を付けている。グル

一歩ホームの生活で支援されているのでありがたいと思う。長野県(その他でも)の地域の住民それぞれ表沙汰にはなりません差別意識は誰も持っていると感じる。難しい問題です。

交流できれば良いのですが、住民の意識改革は息の長い活動が必要だと思う。福祉活動がこの点について、ほとんど行われていないと思う。

- ・障がい個々の種別を社会の人に理解してもらうこと。
- ・障害者のこと 理解してほしい。
- ・差別や偏見はおそらくなくならないと思います。
- ・本人はもとより家族が出来る限り社会にでる。家族が出来る限り隠さない。
- ・差別や偏見はうわべでは親切でも、心の中は汚い人が多いと思います。それでもいろいろな機会に啓発していくことは大事だと思います。
- ・特に発達障害の特性について、心理教育をする場が必要だと思います。「障害」という言葉そのものが差別かと思います。「特性」ではないでしょうか。言葉を変えた方が相手を尊重する表現になろうかと思います。
- ・神奈川県はやまゆり学園事件の様に個人の偏った考えを正すのにはどうしたらよいか・・・やはり子供の頃からの学校教育が大切なのかと思います。
- ・家の近くで分譲がありグループホームを立てるので賛成か反対かのアンケートがあり、一人でも反対があれば中止と書いてありました。しばらくすると個人のお宅が建っていました。説明では朝出掛け、夜帰ってきて夕食と寝に帰るとありました。障害者の理解がまだまだ足りないと思いました。
- ・公官庁が理解を深め、市民に積極的に啓蒙活動、広報活動をする。マスコミにおいても報道啓蒙をして欲しい。
- ・幼稚園から学校で障がいを持った子ども当たり前のように近所の子と育てるべきだと思います
- ・転勤してきて一年、大阪とこんなにも学校での担当先生の差別の違いがあるのかと、親として心に重い物があり笑えなかった。
- ・主人が校長先生はじめ他の先生の前できちんと話をしてくれて、校長先生の理解もあり一変して良くなった。(子供達も変わってくれた)
- ・知ってもらうこと。
- ・小学校から学習して、みんなで考える時間を持つ。
- ・他人事でなく自分がその人の立場であったら、そう言われてどう思うか、無視されてどう思うか、考えたら差別のない社会に一步でも近づくのではないか。自分もなかなか出来ませんが。今 コロナで手を出す事もなかなか難しいですが、声はかけるように心掛けています。
- ・障害と言っても種類・程度によって、多種多様ですべての障害者が差別(=区別)されない世の中というのは無理があると思います。障害が無くても生きづらさを感じている人も世の中にはたくさんいらっしゃいます。そういった方々も含め、世の中にはいろんな人がいて、自分と違う人も受け入れられる寛容さを多くの人に持ってもらう事で、偏見や孤立する人がなくなるのではないかと思います。
- ・小さいころから色々な障害があるということを知ってもらう事が大切ではと思います
- ・障害者がどんどん街中に出て、一般の人が見慣れた状態になれば、差別や偏見が無くなると思う。又、幼保や小学生、中学生のころから、健常児と一緒に学んでいけば差別も偏見も生まれないと思う。もちろん教職者の適切な指導が必要であるが、又、街中のバリアフリーな環境も大切。
- ・特に自治体で決まりや予算などあることは判りますが、一部支払いをしても良いので、生活に必要な物は許可してもらいたい。民間の方が言えばすぐに対応してくれることが多いと思います。普通の人が普通にできる生活は障害者がしようと思ったら何倍も人手とお金がかかってしまう事を国や自治体はもっとわかって欲しいです。
- ・まだまだ先入観で障害者を見ている人が多い。何らかの方法で障害者と健常者が触れ合う機会を増やした方がよいと思う。
- ・声をあげるのだと思います。嫌なことは勇気を出してはっきり断ることが必要だと思います。また手を貸したいと思っている人も、何をしたらいいのか？どのように関わったらいいのか？わからないと思います。助けてほしいこと、お願いしたいことを伝えることが必要だと思います。世の中冷たい人ばかりではないと私は信じています。大町に住んでからは困ったり、嫌な思いをすることなく暮らしています。

(本人)

- ・差別、偏見を恐れず、障害者が社会へ出て周りの人たちと関わりを持つことが必要。
- ・地域社会(コミュニティ、家族、隣近所、集落等)において、障害があっても何らかの役割を持つ(持たせる)ことで、お互いの理解が深まるのではないかと思う。
- ・差別しない、声かける、社会全体への啓発。
- ・障害者差別解消法がすべての人に知ってもらえるよう取り組んでほしい。
- ・一緒にいて優しく受け答えられる幸福な平和な社会でありたい。
- ・知的な部分「遅滞」を理解して育てていける所を伸ばしてほしい。
- ・社会的な広報と教育場面(学校)での啓蒙。
- ・非常に難しい問題で差別はなかなかなくなると思います。当事者、家族、関わる方がもっと声を上げるべきだと思います。
- ・身体に障害がある人には必要な手伝いをする。バリアフリー等の設置。ジロジロ見ない。困っていそうなら一声かけてみる。精神障害や発達障害は見た目は判りづらいが、それを知った時や気づいた時に「どうせ言ってもわからない」と決めつけずにわかり易い言葉で説明したり、繰り返し教えてもらいたい。なんの職業であれ、精神を病んでいる人に対して、それを理由に仕事ぶりも見ないで面接で落とすようなところが減ると良い。
- ・人それぞれの価値観の違いがある為、なかなか理解されないと思います。「障害者差別解消法」という法律、国民にどれくらい浸透するのでしょうか？今TVで見る人も少なく、ネット中心社会です。誤った情報が流れていないか心配です。
なのでかなり時間をかけて正しく情報を伝えて、又ストレスの無い社会を作り安定した暮らしが出来たら良いと思います。今 コロナ禍の為、ストレスが元で誹謗中傷が多いです。
- ・すべての障害が目で見えるものではないので、差別や偏見のない社会は実現しないと思います。このアンケートも意味があるのか全く分かりません。障害がある方に対して、何の知識もない人は何の配慮もしません。たとえ知識があっても自分の家族や友人に対する配慮は出来ても、他人にまではなかなか厳しい社会です。どこかに相談してもその間だけに感じます。最近では病院でさえなくなってきた感じがしています。。
- ・みんなひとりひとり違う人間なんだってこと。それをもっとデモ、ストライキになるくらい叫んでかみついた方が世の中にくねりを起せると思う。白人だけの日本だけの正義だけでは何も変わっていかないからこそ、大声で叫ぶべき。
- ・人と人が思いやる心 ゆとりを持って接して頂き、学校などで学びの場を 相手を知る心 理解しようとする気持ち 差別解消法が世の中に広がれば良いと思います。
- ・障害者の話を聞く場を作る。(聞いてくれる)
- ・生活面では常に迷惑をかけないように行動しています。障害者と思わず個性と思っています。
- ・もっと病気を理解してほしい。
- ・リーダーの人が責任を持って個々に対応し個人の意見を取り入れ、希望と夢を与えてやって欲しい。
- ・自分が何を言ったとしても聞いてもらえない時がある。もっとみんなといろいろな事をお話したい。
- ・もうちょっと話を聞いてほしいです。判るようになってほしいです。
- ・お互い違うところを出来る限り理解するようにする。